



NPO PTPL “ともいき” 便り No.68

平成 27 年（2015 年）1 月 20 日発行

■大寒（だいかん） 1 月 20 日から 2 月 3 日までの節気

朝、散歩をすると霜柱がたっていました。「大雪が降り、氷がはりつめる」ころ、「大寒」に入りました。「ともいき暦」の「大寒」をクリックすると映像を見ることができます。画面は白の世界です。最後に登場するかえでの木にも、雪の花が咲いています。まさに 1 年で一番寒い季節ですね。（「ともいき暦」1 月 20 日をクリック。<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>）

私は東京に住んでいますが、朝、近くの遊歩道の植え込みに霜柱がたっているのをよく見ます。氷が力をあわせて、「よいしょっ」と大地を持ち上げているようで面白いです。息子が 4. 5 歳ぐらいのときのことです。冬のある日、息子は泥が入ったビニール袋をもって幼稚園から帰ってきました。先生がおっしゃるには、園庭に霜柱を見つけ、キラキラとしていてきれいだったので「じいちゃんにおみやげに持って帰る」といってビニールの袋に詰めたそうです。ところが、帰るころには、泥になってしまっていて、霜柱はどこにもありません。それでも本人は「庭にまいて(霜柱を)育てるんだ！」と大張り切り。結局家に持ち帰って猫の額より小さな庭に泥をまいたのですが、気温や日当たりの具合でしょうか、霜柱はたちませんでした。当の息子は、案外けろっとしてしましたっけ。霜柱を見ると思い出すエピソードです。

私は、毎年喪中で年賀状をだすことができなかつた友人に、「寒中見舞い」をだすようにしています。そうしたら先日、寒中見舞いの葉書が友人から届きました。外はまだまだ寒くても、葉書きに描かれた紅梅の絵に暖かな春の兆しをぽっと感じることができました。「寒中見舞い」は小寒の「寒の入り」から節分までの「寒中」の間にだします。さらに立春以降、2 月末までにだすお手紙を「余寒見舞い」といいます。余寒とは残寒。つまりまだ残る寒さという意味で

す。寒冷地は3月末でも余寒見舞いを出すところもあるそうです。

(「ともいき暦」<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/より>)

2月3日は「節分」です。すでにスーパーには鬼のお面がおまけについた「福豆」が売られています。最近では近所からの苦情もあって、大きな声で「福はうち、鬼はそと」と叫ぶ人が少なくなったそうですが、我が家は大きな声でやります。最近では、豆が散らばるのがいやで、殻つきの南京豆をまく家もあるそうですが、「節分」の豆は「炒った大豆」でやりたいです。中国では古くから、大豆は強い生命力をもつと考えられ呪術的な使われ方をされていたそうです。それが日本にも伝えられ、大豆の霊力で鬼を追い払うようになったとのこと。 「豆」をまくのは、鬼の目を打つ「魔目(まめ)」または「魔滅(まめつ)」に通じるからとも言われています。皆さんは、豆をいくつ食べますか。年の数だけ食べる方もいらっしゃると思いますが、私は立春からの新しい年の一歳分をたして食べます。私の義理の母は、98歳。一個足して99個の豆を食べるのはちょっと大変。そういうときは、お湯呑みに99個の豆をいれてお茶を注いで飲めば、豆を食べたのと同じぐらいの効力があるそうです。また地方によっては、「福豆・梅干・紫蘇・昆布・山椒」をいれたお茶(福茶)を飲む風習もあるそうです。

先日、公園に行くと、蠟梅が咲いていました。小さくてふわっとしたかわいい花です。とてもいい香り。花の香りは季節の移ろいを感じさせてくれます。これから、1年間、四季折々の花の香りに誘われながら、健康に気をつけて過ごしていきたいと思います。

インフルエンザが流行っています。皆さま、くれぐれも、気をつけてください。今年の節分は、ぜひ豪快に、掛け声をかけて「鬼」を追い払いましょう。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼は

銭湯

気分を変えるためだったり、変化を求めて私は月に1~2回近くの銭湯に行きます。先日、とても微笑ましい場面に遭遇しました。

アメリカ人と思われる男性が、男湯と女湯の壁越しに彼の奥さんと思われる女

湯の人に（英語で）あとどのくらいで出るか聞いているのです。
それも2度、3度とです。そして暫くたって奥さんの方からもうそろそろ出ますよ、と声かけられました。

とても楽しい、愉快的な時間でした。

日本に住んでいる外国人に日本の生活習慣と日本語に興味を持ってもらい、日本の良い伝統文化を体験し、知人、友人にもっともっと喧伝してほしいものです。

「ともいき」「ともうみ」「ともさち」のジャパネスク。

ところで、ドナルド・キーンさんも銭湯に行くのかな。

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

- 今号の「ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是」のテーマは「銭湯」です。銭湯について、もう少し述べてみたいと思います。私は杉並区に住んでおり、自宅から歩いて行ける銭湯が3つあります。

その中のひとつの銭湯を通して、当世の銭湯事情を紹介します。

まず、営業時間は13:30~25:15まで。料金は460円（都内一律）。浴室にはシャンプーとボディーソープが備えられ、タオルは無料で貸し出し、よって会社帰りでも気軽に立ち寄れます。

浴室はとても清潔で、水風呂があり温冷浴が人気です。熱い湯船は3つあり、ミルク風呂（温度41度）、熱めの風呂（温度45度）、ジェットバス（3種）と充実しています。休日には明るいうちから銭湯に行き、3つの湯船と水風呂でリフレッシュしています。時間帯ごとに、地元で長く住むお年寄り、仕事後の若い人、休日には親子などさまざまな人たちが賑わっています。

皆さんいかがですか？ たまには休日の銭湯もいいものですよ。

- 「ジャパネスク」公式サイト (<http://japanesque.tokyo/>) フェイスブック「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

(<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo>)

「ともいきぐらし」<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」<https://www.facebook.com/oragafuji> をご覧ください。そして、各フェイスブックの読んでいただいたコメントをお寄せください。お待ちしております。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp